

第1回 森林・林業教室を実施しました

日 時：令和6年12月23日（月）10:00～16:00

場 所：香川県森林センター 実習室、更新伐現地（まんのう町仲南地区）

参加者：森林所有者5名、広葉樹の利活用に取り組む団体や個人19名、
森林組合職員6名、市町職員1名、県職員10名 計41名

主 催：香川県森林・林業政策課、香川県森林センター

森林所有者やその後継者、林業や木材産業に携わる方や関心をお持ちの方を対象とした「森林・林業教室」を今年度から実施することになりました。第1回は「未利用広葉樹等の利活用と資源の循環利用に向けて」と題し、以前から要望のあった「山にある木の名前がわかるようになりたい」に応える講義や、木材を加工する際に必要な知識の向上、広葉樹林での更新伐施業の検討、県内で利活用に取り組んでいる方による活動紹介と課題の共有、意見交換等を行いました。



【午前の部】山にある木の名前を知ろう
開会挨拶及び開催の目的について
(東部林業事務所長)



①「樹木の特徴のつかみ方を知り
樹木図鑑の使い方に親しむ」
(森林センター所長)



②「木材の材質と乾燥について」
(産業技術センター主席研究員)



③「園内樹木マップを手に歩いて樹木
を観察し、樹種名や特徴を知る」
(森林センター林業普及指導員)



枝葉から樹種名を識別する練習
(森林センター林業普及指導員)



【午後の部】広葉樹の更新伐現地検討
① 広葉樹林の更新伐作業や土場等を見学
(仲南町森林組合総括課長)



② 広葉樹林の状況を知り更新伐施業
を考える (東部林業事務所長)



林業機械による玉切りや集材を見学



利活用と資源の循環利用に向けた
意見交換 (森林・林業政策課主席指導員)

(香川県森林センター 林業普及指導員)